

深堀りワシントン

福村真理子

第17回 アメリカの秋を楽しむ

10月は昼夜週末問わずのスケジュールで走り抜けた日々だった。新しい出会いがあり、毎週末、遠くは日本から来客があり、まさに「有り遠方より来る、亦た楽しからずや」とバタバタのなかにも喜びに満ちた月だつたように思う。

だが、分刻みのスケジュールはテニスコートでひたすら飛んでくる球を打ち返すのに似て、クリエイティブさにはまったく毒である。打ち返すので精一杯で、よつとした日々の面白いことに感動する力がなくなってしまう。そんなわけで、毎月このコラムはちよ

この時期、DCとメリーランドの境、タコマパーク付近では、クリスマスより力が入ったハロウィンのデコレーションで盛り上がる。かぼちゃを並べるなんていうのは初歩的で、どこで調達するのか、家の2階から庭にかけて巨大なクモが家を覆っている家の隣や、背の高い木に骸骨が座ったブランコを吊り下げた家がある。夜には黒いステッカーで作った悪魔が窓から覗

いていたり、ポーチの天井から頭蓋骨がいくつもぶら下がっていたり。コトンをでできた蜘蛛の巣が覆われた家もあるし、崩れ落ちたテルテル坊主みたいな幽霊が木に揺れている家もある。ぶらぶらと散歩するだけでも、ディズニールランドのホーンテッドマンションならぬ、ホーンテッドタウンを楽しめる。

もちろん、見ているだけではつまらない。この時期はどこのスーパーでもスイカよりもふた回り大きいゴロゴロしたかぼちゃを一つ5、10ドルくらいで売っていて、大抵その横にカービングキットが売られている。このかぼちゃを無言で集中して彫り込む作業というのが、なかなか瞑想に近くて心で静寂を与えてくれるだけなく、友達とやれば、結構楽しく良い思い出になること請け合いです。木よりも柔らかいので彫りやすく、フリーハンドでやってみると、自分の心の状態を表すものができるのも面白い。一度、怒りながらやっていた時には、絵本『かいじゅうたちのいるところ』の怪獣の顔を彫ったつもりが、般若のような顔になってしまった。

もちろんハロウィンの夜は、ダウンタウンのバーに行けば仮装した若者でこつた返していて、誰が誰かわからないスリル感に満ちている。そしてここは、世界各国の大使館がアメリカ大統領のお膝元で外交を繰り広げる、ワシントンDCである。なかでも特に草の根外交にも力を入れているフランス大使館では、年間を通じて大使館を会場にして音楽やダンスイベントを多数催している。ハロウィンがフランスにどう関係あるかならうが、当然ハロウィーナイトも夜に大使館を開いてやっており、フランスが実践する「外交」の定義の幅広さにさすがと唖るの

である。だが何といつても私のとっておきの秋の楽しみは、アメリカならではの Corn Maze、つまりコーン畑の迷路である。DCから1時間前後車を走らせると、メリーランドにはいくつもコーン畑がある。その収穫後の枯れ木のトウモロコシが乱立する畑が迷路に変身するのである。畑ごとに、ユニコーンやDCの野球チーム・ナショナルズのロゴなど、その年のテーマの形に迷路を作り込んであり、ウェブサイトに所要時間の目安が書いてある。夜、開けているところもあるが、昨年はあまり難しくないものを選んだところ、友人の推理力が高すぎて10分で終わってしまった。

今年は水とお菓子を持って3時間くらいかかるものに挑戦してみたい。ただ歩くよりも一人でジムで走るよりも、友達数人でよもやま話をしつつ秋の日差しを浴びながら自然に溢れた迷路を脱出するなど、最高の秋の日々である。ぜひお試しあれ。



高い木の枝からぶら下がる骸骨のブランコはロープをくりつけたフットボールを何度も投げて吊り下げたそう



手の込んだタコマパークのハロウィンのデコレーション (筆者撮影、左も)

ふくむら まりこ
2016年よりアテナアイルス代表。ワシントンDC在住15年。キャリアを通じて調査・戦略的コミュニケーションに携わり、外交問題、社会政策、最先端科学技術の規制・政策・戦略の策定過程を追っている。2015年にはグアテマラを旅し、メキシコで暮らすカリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)、太平洋国際関係学修士号取得。青山学院大学・国際政治経済学士号取得。



さくらラジオ番組案内

www.sakuradio.com

全米をカバーする日本語インターネットラジオ



★NYでRakugo 旋風! 桂サンシャインさんが登場「NY五番街トーク」11月4日(月)午後7時ほか

青木恵子さんがNY五番街の自宅からお届けする人気トーク番組「NY五番街トーク」にオフロードウェイでロングラン公演中の落語家・桂サンシャインさんが出演。落語家を志した理由やプライベートの話題までを赤裸々に語ってくれました。2回放送の後半になります。また素敵なプレゼントも用意。

★日系人博物館を紹介「Bright Color from LA」11月8日(金)午前10時ほか

LA在住のナビゲーター手島里華さんが旬の情報をお届けする

「Bright Color from LA」。11月8日の放送は前の週に続いて、ダウンタウンロサンゼルスにある全米日系博物館からお届けします。第二次世界大戦中、敵性外国人として多くの日系人が強制収容所に連れて行かれました。そこで暮らしをご紹介します。アメリカに住む日本人にとっては大切な史実、ぜひお聴きください。

★東はボストンから西はハワイまで、現地のナマ情報をお届け「かわら版USA」毎週月曜日午前7時ほか

全米の各地域に住むコミュニティー・パーソナリティがお届けする人気番組! 地域ならではのディープな生活情報・文化・イベントなど盛り

りだくさんでお届けします。ロサンゼルスやシカゴ、ハワイといった日本人が多く住む都市から、ニューオーリンズやシンシナティといった日本人があまり住んでいなさそうな都市まで、毎週3つの地域から厳選情報をお届けします!

★今月は中学校と高校! 「ジャッキー先生の何でも教育相談室」毎週月曜日午前9時40分ほか

在米40年のアメリカ教育のベテラン・ジャッキー先生とナビゲーターの藤木優子さんがお届けする「ジャッキー先生の何でも教育相談室」。11月のテーマは「日本とアメリカ学校生活の違い~中学校・高校編パート1」です。日本の中学校とア

メリカの中学校の違いは? 中学校の授業内容は? 成績の付け方は? 高校受験は? など、4週にわたってジャッキー先生にお話を伺います。11月4日(月)はアメリカの中学校の授業についてお伺いします。

★新番組「三代目 柳家 東三樓のアメリカよもやま噺」毎週金曜日放送

11月から始まる新番組。全米に落語を広めるために旅を続ける東三樓さんことZABUちゃんが、各地域で経験した面白エピソードを一人喋りします。

★ハワイの相続に関する法律のお話「USロイヤー法律相談」毎週月曜日午後8時20分ほか

「訴訟大国」アメリカでは、法律の常識を知らないと思われトラブルに巻き込まれることもあります。「USロイヤー法律相談」ではそんな難解なアメリカの法律に関して専門の先生がたからアドバイスをいただきます。11月のテーマは「ハワイ

の相続に関する法律」。たとえば日本在住ながらもハワイで不動産を購入されたかたが亡くなられた場合、その資産は誰が相続することになるのでしょうか? 「プロバート」という相続の手続きをご存知でしょうか? ハワイ在住の弁護士、本郷友香先生にじっくりお伺いします。

★誰もが表現者になれる場を提供「Yosemiteの自己放送」毎週金曜日午後10時30分ほか

誰もが表現者になれる場所を創ることを目的に活動中のYosemite (ヨセマイク) による、誰もが自分について話せる「Yosemiteの自己放送」。隔週で行われるイベントの様態と、イベントに参加した表現者のインタビューを中心にパーソナリティのちゃんてるとアリエルがお送りします。

聴取方法= App StoreやGoogle PlayからSakura Radioアプリをダウンロードするかウェブサイト

www.sakuradio.comで聴けます